



# 令和4年度 青森市子ども会議 活動報告書



令和4年度青森市子ども会議フォーラム2022  
FOR CHILDREN  
～子どもの未来に夢と希望を～  
【令和4年11月20日（日）開催】

## ～ もくじ ～

### ◆ 青森市子ども会議活動報告

令和4年度の活動	・・・	1
事前顔合わせ会開催概要	・・・	3
臨時会議（第1回子ども会議準備）開催概要	・・・	6
第1回開催概要	・・・	9
第2回開催概要	・・・	13
第3回開催概要	・・・	16
第4回開催概要	・・・	19
第5回開催概要（青森ねぶた祭における子どもの権利普及啓発活動）	・・・	23
第6回開催概要	・・・	26
第7回開催概要	・・・	29
第8回開催概要	・・・	32
第9回開催概要（YTK とのオンライン交流会）	・・・	35
第10回開催概要	・・・	39
第11回開催概要	・・・	42
第12回開催概要	・・・	44
第13回開催概要（豊田市とのオンライン交流会）	・・・	46
ENJOY！秋のスポーツイベント ～心も体もリフレッシュしよう～	・・・	49
第14回開催概要	・・・	52
第15回開催概要	・・・	53
青森市子ども会議フォーラム2022 FOR CHILDREN ～子どもの未来に夢と希望を～ 開催概要	・・・	56
第16回開催概要	・・・	67
第17回開催概要（子どもの権利条約フォーラム2022 in 那覇／沖縄）	・・・	72
第18回開催概要	・・・	74
子どもの権利トークイベント	・・・	76
第19回開催概要	・・・	80
令和4年度 青森市子ども会議 活動報告会	・・・	81

◆ 令和4年度青森市子ども会議委員・青森市子どもサポーター名簿	・・・	85
---------------------------------	-----	----

◆ 青森市子どもの権利条例	・・・	86
---------------	-----	----

青森市では、「子どもの権利条例」に基づき、市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として、青森市子ども会議を設置しています。

## 令和4年度の活動

回	開催日	内容	参加人数
事前顔合わせ会	R4. 4. 23(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市子ども会議について</li> <li>子どもの権利に関する講義</li> <li>令和4年度活動テーマについて</li> </ul>	子ども会議委員 17名 子どもサポーター5名
臨時会議 (第1回子ども会議準備)	R4. 5. 14(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回子ども会議に向けて</li> <li>Aomo LIVE (アオモライブ) について</li> <li>子どもの権利普及啓発グッズについて</li> </ul>	子ども会議委員 12名 子どもサポーター3名
第1回	R4. 5. 21(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長報告</li> <li>Aomo LIVE (アオモライブ) の撮影</li> </ul>	子ども会議委員 13名 子どもサポーター2名
第2回	R4. 6. 11(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスブレイク</li> <li>Aomo LIVE (アオモライブ) 3分動画鑑賞</li> <li>子どもの権利普及啓発グッズについて</li> <li>今後の活動について</li> </ul>	子ども会議委員 16名 子どもサポーター3名
第3回	R4. 7. 9(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み中の活動スケジュールについて</li> <li>グループ活動</li> <li>ねぶた祭での配布物品の準備</li> <li>子ども・ユースキャラバン 2022 について</li> </ul>	子ども会議委員 15名 子どもサポーター1名
第4回	R4. 7. 23(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利に関する講義</li> <li>グループワーク</li> </ul>	子ども会議委員 16名
第5回	R4. 8. 2(火)	青森ねぶた祭における子どもの権利普及啓発活動	子ども会議委員 13名 子どもサポーター4名
第6回	R4. 8. 15(月)	グループ活動	子ども会議委員 12名
第7回	R4. 8. 16(火)	グループ活動	子ども会議委員 13名
第8回	R4. 8. 17(水)	グループ活動	子ども会議委員 14名 子どもサポーター1名
第9回	R4. 8. 27(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>YTK とのオンライン交流会</li> <li>オンライン交流会を終えて</li> </ul>	子ども会議委員 8名
第10回	R4. 9. 11(土)	青森市子ども会議フォーラム 2022 に向けて	子ども会議委員 10名
第11回	R4. 9. 23(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>むつ湾感謝祭 2022 への参加</li> <li>スポーツイベント等のチラシの作成</li> </ul>	子ども会議委員 13名 子どもサポーター1名

回	開催日	内容	参加人数
第12回	R4.10.10(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市民図書館の展示タイトルについて</li> <li>子どもの権利パネル展の展示物作成</li> <li>スポーツイベントのリハーサル (EE チーム)</li> </ul>	子ども会議委員 11 名
第13回	R4.10.16(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田市とのオンライン交流会について</li> <li>グループ活動</li> <li>豊田市とのオンライン交流会</li> </ul>	子ども会議委員 8 名
スポーツイベント	R4.10.23(日)	ENJOY! 秋のスポーツイベント ～心も体もリフレッシュしよう～	子ども会議委員 14 名 子どもサポーター1名
第14回	R4.10.29(日)	青森市子ども会議フォーラム 2022 に向けて	子ども会議委員 6 名 子どもサポーター1名
第15回	R4.11.12(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツイベントの振り返り</li> <li>青森市子ども会議フォーラム 2022 に向けて</li> </ul>	子ども会議委員 13 名
フォーラム	R4.11.20(日)	青森市子ども会議フォーラム 2022 FOR CHILDREN ～子どもの未来に夢と希望を～	子ども会議委員 17 名 子どもサポーター3名
第16回	R4.12.3(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市子ども会議フォーラム 2022 の振り返り</li> <li>トークイベントの企画について</li> <li>子どもの権利条約フォーラム 2022 in 那覇/沖縄について</li> </ul>	子ども会議委員 13 名
第17回	R4.12.10(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利条約フォーラム 2022 in 那覇/沖縄</li> <li>トークイベントについて</li> </ul>	子ども会議委員 7 名
第18回	R5.1.28(土)	トークイベントの企画について	子ども会議委員 11 名
トークイベント	R5.2.11(土)	子どもの権利トークイベント	子ども会議委員 13 名 子どもサポーター1名
第19回	R5.2.23(木)	活動報告会に向けて	子ども会議委員 12 名 子どもサポーター2名
活動報告会	R4.3.19(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度青森市子ども会議活動報告会</li> <li>今年度の活動を振り返って</li> </ul>	子ども会議委員 16 名 子どもサポーター4名

## 令和4年度 青森市子ども会議 事前顔合わせ会

- 1 日 時 令和4年4月23日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員13名、子どもサポーター5名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員4名
- 4 活動内容 (1) 青森市子ども会議について  
(2) 子どもの権利に関する講義  
(3) 令和4年度活動テーマについて

### 5 開催概要

青森市子ども会議は、青森市子どもの権利条例第14条に基づき、まちづくりをはじめとした市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として設置され、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成されています。

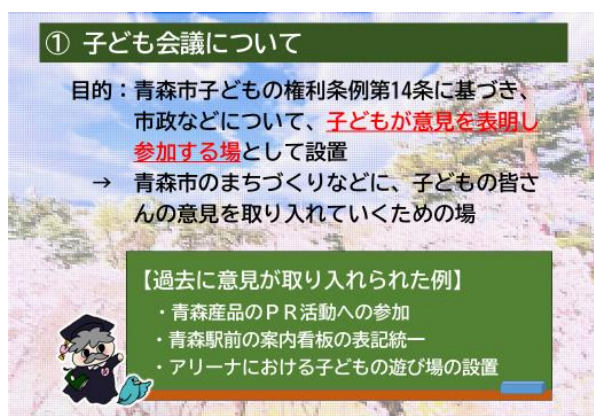
今年度は、子ども会議委員24名（小学生9名、中学生6名、高校生9名）と、子どもたちの活動をサポートする子どもサポーター7名（学生4名、社会人3名）で活動をスタートしました。

子ども会議では学年や学校を越えたメンバーで、いろいろな活動を通じた学習や体験ができるほか、子どもの権利についても深く学ぶことができます。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、会場参加に加え、オンラインも活用した事前顔合わせ会となりました。

#### 青森市子ども会議について

はじめに、事務局から青森市子ども会議について説明がありました。青森市子ども会議では主に、青森市のまちづくりなどについて調査したり、子どもの権利について学び、みんなにも知ってもらうための活動を行ったりしています。令和3年度は、Instagramを活用した青森市の魅力発信や奈良市とのオンライン交流会を行ったそうです。これまでに子ども会議で提案した意見が青森市のまちづくりに実際に取り入れられた例も紹介してもらい、やる気が湧いてきました。



## 子どもの権利に関する講義

次に、子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、初めて顔を合わせた子ども会議委員同士が仲良くなるきっかけとして、アイスブレイクも含めた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

アイスブレイクでは、ペアになった人の素敵だと思ったところをすぐに見つけて3つ言い合う「いいところ探しゲーム」のほかに「最近あった良かったこと」、「今一番大切な人」、「自分の強み」、「人生の中で一番つらかったこと、それをどう乗り越えたか」などさまざまな質問に答えて、全員で拍手をする「Good&New（グッドアンドニュー）」などを行いました。

初体面の人が多く最初はとても緊張していましたが、アイスブレイクを通じてみんなと打ち解けることができ、緊張もほぐれました。



## 令和4年度活動テーマについて

最後に今年度の活動についてみんなで話し合いました。まず、自己紹介と合わせて、青森市の好きなところや今年度の活動でやってみたいことなどについて一人ずつ発表しました。

### 〈青森市の好きなところ・興味のあること〉

- ・自然が豊かで美味しいものがたくさん
- ・りんごや海産物など美味しい食べ物
- ・災害が少ない
- ・水が美味しい
- ・ねぶた祭
- ・縄文時代以外の青森市の歴史
- ・三内丸山遺跡などの世界文化遺産
- ・油川や浪岡などの歴史
- ・青森県立美術館(あおもり犬)
- ・SDGs

### 〈今年度の活動でやってみたいこと〉

- ・雪国ならではの雪の活用
- ・青森のお土産紹介
- ・穴場スポットの紹介
- ・市内の地域ごとの調査
- ・雪中行軍を知って欲しい
- ・神社やお寺特集
- ・青森県防災教育センター
- ・おすすめの本紹介

次に高校3年生のベテラン委員の進行のもと、出された意見をジャンルごとに分ける作業を行いました。ジャンル分けすると、「食料」「自然」「歴史」「地域」「建物・施設」「その他」の6つになり、この中から今年度活動したいこととして1人3つずつ選んでもらったところ、多い順に「地域」「自然」「歴史」となりました。

今年度は、主にこれら3つのジャンルに関わる活動を行っていきたいと思います。



次回の会議では、今年度の活動についてもっと詳しく話し合い、第1回会議での市長報告に向けた準備を行います。

## 令和4年度 青森市子ども会議 臨時会議

- 1 日 時 令和4年5月14日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員12名、子どもサポーター2名、事務局3名  
オンライン参加：子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) 第1回子ども会議に向けて  
(2) Aomo LIVE（アオモライブ）について  
(3) 子どもの権利普及啓発グッズについて

### 5 開催概要

第1回青森市子ども会議の準備を行うための臨時会議を開催しました。

#### 第1回子ども会議に向けて

前回の事前顔合わせ会に引き続き、今年度の活動について話し合いました。子ども会議に長く参加している高校生委員から「グループに分かれて活動してはどうか」という意見があり、今年度は2グループに分かれて活動を進めることにしました。各グループで進める内容は、前回子ども会議でやりたいこととして出合った意見を踏まえ、「イベント等の開催」と「青森市内の各地域について調査」の2つとし、実際にグループに分かれて活動方針などについて話し合いました。

次に、全員で今年度の活動テーマを決めました。すぐにテーマが決まらなかったため、テーマに取り入れたいキーワードをみんなにあげてもらったところ、「発信」「深掘り」「じゃわめぐ」「盛り上げる」などがあげられましたが、「去年は『青森市の魅力再発見』だったから、それを発信するということが、『発信』というワードが良いと思う」との意見に賛成者が多かったため、「発信」を使うことになりました。また、「発信をわざとひらがなに『発信』と『発進』の2つの言葉をかけたかどうか」という意見に他の委員も賛成したため、『**青森市の〇〇をはっしん!**』というテーマが決まりました。

最初は、〇〇の中に「知らない」「観光」「魅力」「わいは（驚き）などの津軽弁」「楽しい」「大好き」などの言葉を入れる予定でしたが、「活動していく中で、それぞれのチームではっしん（発信・発進）していくもので〇〇を埋めよう！」という意見が出たため、〇〇のままにすることにしました。

次に、第1回会議での役割を決めました。司会者や発表者、スライドを操作する人、LIVE 配信する人などたくさんの役割がありましたが、みんなが進んで立候補してくれたので、スムーズに決めることができました。「やりたい！」と手を挙げてくれた委員の中には、当日学校の行事で参加できない人もいて少し残念でしたが、また次の機会に活躍してほしいと思います。



発表に使うスライドを小学生委員がつくってみたいと言ったので、他の委員はサポートに回ることとし、その様子を見ながら別の高校生委員が発表原稿をつくりました。

顔を合わせたのはまだ2回目ですが、チームワークもばっちりです。



### 〈各グループで話し合った内容について〉

#### ○イベント等の開催 グループ

- ・テーマ…青森市のじゃわめぎをはっしん！
- ・活動について…青森市のじゃわめぎを発信するため、自分たちでイベントを企画または他団体が開催するイベントにお邪魔し、中心商店街の活性化につなげたい。



イベントでは、ミニスポーツコーナー、スタンプラリー、Instagramのハッシュタグを活用したミニイベントの実施など、これまで取り組んできた活動も取り入れながら、盛り上げられる内容にしたい。

じゃわめぐ青森市の実現に向けて、イベントの参加者も巻き込みながら、一緒に第一歩を発進できるよう、子どもの権利に関するトークイベントなども開催したい。

#### ○青森市内の各地域について調査 グループ

- ・チーム名…PCAPCA(パカパカ)

由来：「Presentation of the Charm of Aomori city (青森市の魅力を発信)」の頭文字である PCA とし、読み方は発進にかけて馬が歩く音であるパカパカとした。

- ・活動について…昨年度開設した公式 Instagram を活用し、さまざまな情報を発信する。

若者向けにカフェやおすすめメニューの紹介。

昔から続いているお店と新しくできたお店の違いの調査。

青森の食材が使われているお店の紹介。

漁師カードのような青森市の PR カードを作成し、イベント等で配付。

(安方はアスパム、緑はサンロード青森、幸畑は雪中行軍遭難資料館など)

あまり知られていない各種スポットを調査。(雪中行軍記念資料館、野木和公園、浪岡の城跡、県立美術館や郷土館など)



### Aomo LIVE（アオモライブ）について

今年度から始まった市の新しい情報発信ツールである「Aomo LIVE」で発信するため、子ども会議をテーマにした動画を撮影することになりました。

撮影は来週の第1回会議が終わった後に行いますが、その撮影で使用する小物を手分けして作成しました。

### 子どもの権利普及啓発グッズについて

最後に、今年度の子どもの権利普及啓発グッズについて話し合いました。Tシャツ、トートバック、マスク、リストバンド、キーホルダー、ボールペンなど多くの意見がありました。今日参加した委員の中で特に作成したい！と意見が多かった「Tシャツ」、「トートバック」から1つ、「キーホルダー」、「ボールペン」から1つ、それぞれグッズを選ぶことにしました。また、今日参加しなかった委員からの意見も取り入れるため、グループLINEで多数決をとり、後日グッズを決定することとしました。



今回は、いよいよ市長に今年1年間の活動予定を報告する第1回青森市子ども会議です。いつもより早い集合となりますが、頑張りたいと思います。

## 令和4年度 第1回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年5月21日（土）8時30分～12時00分
- 2 場 所 青森市役所 本庁舎1階 サードプレイス  
青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 子ども会議委員13名、子どもサポーター2名、事務局5名
- 4 活動内容 (1) 市長報告
  - 1 開会
  - 2 市長あいさつ
  - 3 自己紹介
  - 4 令和4年度青森市子ども会議の活動について
  - 5 市長から激励の言葉
  - 6 写真撮影
  - 7 閉会(2) Aomo LIVE（アオモライブ）の撮影

### 5 開催概要

今年度の活動が本格的に始動します。まずは、今年度の活動予定について市長に発表します。市長報告の様子はインスタライブで配信しました。

#### 開会

前回、司会をやりたい！と立候補してくれた高校生委員の開会のあいさつにより、第1回青森市子ども会議が始まりました。



#### 市長あいさつ

子ども会議の皆さん、おはようございます。令和4年度初めての子ども会議になります。またお会いできた方や新しくお会いできた方もいらっやって本当にうれしく思います。今年の委員は24名、新たに10名の方が参加してくれたと聞いています。さらには、皆さんの活動を支えてくださる子どもサポーターの皆さんも2人増えまして、7名ということで、さらにパワーアップした子ども会議、本当に楽しみにしています。今年度の活動についてこの後の発表をとても期待しています。今日はよろしくお祈いします。

## 自己紹介

今年度一緒に活動する委員及びサポーターが、青森市の好きなところや子ども会議でやりたいことなど一言添えて自己紹介をしました。



## 令和4年度青森市子ども会議の活動について

今年度の活動予定について、市長に向けて委員の代表3名による発表がありました。

### 〈発表の概要〉

令和4年度の青森市子ども会議は、小学生9名、中学生6名、高校生9名の委員24名とサポーター7名の合計31名のメンバーで活動を行います。

今年度の活動テーマは「青森市の〇〇をはっしん!」にしました。この「はっしん」には、青森市の魅力などを子どもならではの目線から市内外の人たちに伝える「発信」と、魅力ある青森市をみんなと一緒に創り出すために新たな一歩を踏み出す「発進」の2つの意味があります。今年度は、この2つの「はっしん」をするために、2つのグループに分かれて活動したいと思います。

1つ目のグループでは、子ども会議公式 Instagram を活用して気になる「青森市の〇〇」を子どもならではの目線で発信します。これまで子ども会議で紹介していなかった八甲田山雪中行軍遭難資料館や県立美術館などを紹介する予定です。

2つ目のグループでは、「じゃわめぐ青森市」を創るためにみんなと一緒に「発進」することを目指し、その第一歩として中心商店街の活性化イベントなどへの参加や子どもの権利のトークイベントなどを行うことにより、じゃわめぎを創出したいと思います。

また、全体の活動としては昨年度に引き続き、他都市とのオンライン交流を行います。「子どもの権利」や「お互いの活動」について「発信」し合い、子ども会議の活動の新たな「発進」につなげたいと思います。

このほか、ねぶた祭などの様々なイベントに参加し子どもの権利の普及啓発活動を行うほか、11月20日には、今年の活動を通して気づいた疑問や子ども会議委員から青森市へ提案を行う「青森市子ども会議フォーラム」、そして3月には1年間の活動を小野寺市長に報告する「活動報告会」を行います。

今年の抱負は、「じゃわめぐ青森市をつくるために、青森市の〇〇をたくさん見つけてはっしん!」です。今日はこの後、さっそく Aomo LIVE で青森市子ども会議の活動を発信する動画を撮影します。学校・学年も様々ですが、新しいメンバーと一緒に協力しながら頑張りますので、よろしくをお願いします。



**じゃわめぐ青森市をつくるために  
みんなと一緒にほっしん!**

- ・中心商店街の活性化イベント等へ参加
- ・子どもの権利トークイベントの開催

>楽しいコーナーも実施

ハッシュタグ投稿      子どもの権利の普及      スポーツ  
スタンプラリー



※これからの活動で具体的な内容を決定

**市長から激励の言葉**

皆さん発表ありがとうございました。今年のテーマ「青森市の〇〇をほっしん！」ということで、最後の報告会で〇〇に何が入っているか楽しみにしたいと思います。それから、「じゃわめぐ青森」を発信して下さるといことで、ぜひ世界に向けて発信できるコンテンツを探して発信してください。皆さんがだんだん使い慣れてきているコンテンツの1つである Instagram を使って、青森市の魅力を世界に発信してくれることを期待しています。

また、子ども会議フォーラムは私もとても大事にしている会議です。皆さんからいただいた意見を青森市のまちづくりに活かして、皆さんに一つでも多く良いお返事ができるように私も頑張っています。

最後に宣伝になりますが、皆さんもこの後収録に参加してくれる「Aomo LIVE」という番組についてです。今年から青森ケーブルテレビと YouTube で青森の情報をお伝えする番組を始めることにしました。青森市の魅力を今度は大人目線で頑張ってみるんですけど、子ども会議の Instagram に負けないようにしたいと思いますので、ぜひご覧ください。

今年度もよろしくお祈いします。

**写真撮影・閉会**

最後にみんなで市長と一緒に写真撮影をし、市長報告は閉会となりました。



## Aomo LIVE（アオモライブ）の撮影

無事に市長報告を終え、休息もつかの間、6月21日放送予定のAomo LIVEの撮影を、地域おこし協力隊の近さんと一緒に行いました。

はじめに、事務局が作成した動画のシナリオや撮影の流れの説明を受け、次にセリフを言う人などの役割を決めました。自薦、他薦により役割がスムーズに決まったので、各自で少し練習をした後、すぐに撮影にとりかかりました。

声だけを撮ったり、反対に声は出さず表情だけで物語る場面を撮ったりと、いろいろなシーンがあり、演技力が試されましたが、ワイワイとした子ども会議の楽しい雰囲気伝えられるように一生懸命頑張りました。地域おこし協力隊の近さんも熱演にご協力いただき、ありがとうございました。

完成した動画を見るのが今からととても楽しみです。



## 令和4年度 第2回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年6月11日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター1階 視聴覚室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員14名、子どもサポーター2名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員2名、子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) アイスブレイク  
(2) Aomo LIVE (アオモライブ) 3分動画鑑賞  
(3) 子どもの権利普及啓発グッズについて  
(4) 今後の活動について

### 5 開催概要

#### アイスブレイク

今日の会議では、今年度初めて参加する委員と、新しい友だちとして小学生委員が1名増えたので、初めにアイスブレイクを行いました。

まずは、みんなの名前を覚えるために「勝ってつなげて名前を覚えろ」というゲームを行いました。ルールは簡単で、お互いに自己紹介をしてからじゃんけんをして、勝った人が負けた人の名前を自分の名前の後ろにつなげて名乗ることができます。これを繰り返して、1番多く名前をつなげられた人が勝ちです。今回の勝者は、9人の名前をつなげて覚えることができた小学生委員でした。6人までは覚えることができた委員が多かったです。

次にチームに分かれて「気持ちをそろえてハイポーズ」というゲームを行いました。お題に合わせてみんなでポーズをとり、全員が同じポーズをとったチームに1ポイント入るというチーム戦です。お題は「バスケットボール」や「コック」「警察官」「掃除」などがあり、1番揃いそうなポーズを予想して協力しました。「バスケットボール」ではシュートポーズやドリブルポーズの人がいたり、「掃除」では、掃き掃除や拭き掃除の人がいたり、全員で揃えることは意外と難しかったです。

どちらのゲームも、みんなで和気あいあいと楽しむことができました。



### Aomo LIVE（アオモライブ）3分動画鑑賞

前回の会議で撮影した3分動画が完成したので、みんなで鑑賞しました。3分という短い動画なので、使われなかったシーンもあって残念でしたが、初めての動画撮影にもかかわらず、みんなで協力して良い作品ができたと思います。

この3分動画は、青森ケーブルテレビの市民チャンネルで令和4年6月21日（火）に放映された後、青森市の公式YouTubeでも公開されます。ケーブルテレビを契約していない委員・サポーターは青森市公式YouTubeでの公開を楽しみにしていました。

### 子どもの権利普及啓発グッズについて

今年度作成する子どもの権利普及啓発グッズは、LINEの投票により「トートバック」に決まりました。今日はトートバックの色や形、デザインを決めました。トートバックの大きさは、A4が入るサイズが良いという声が多かったので、形について、縦長と横長のどちらにするか多数決を取りました。面白い意見では、横や縦ではなく、斜めの形のトートバックが良いという意見もありましたが、横長の船底型が一番人気だったので、この形で決まりました。色は、ほぼ全員から賛同をもらったので、ベージュや黄なりのような素材を生かした色に決まりました。

デザインは、みんなが考えてきてくれたものの中から良いところを取り入れ、組み合わせました。今年度は黒一色でプリントして、シンプルながらも格好良く仕上げる予定です。でき上がったトートバックを持っているところに調査活動に行きたいです。



### 今後の活動について

次に今後の活動について各グループに分かれて話し合いました。





イベントグループ	PCAPCA グループ
<p>○スポーツイベントの企画</p> <p><b>種目</b> 鬼ごっこ、しっぽとり、ウォーキング(ツアー兼ねる)、バスケットボール、バドミントン、テニス、フリスビー、フリスビードッジ、スラックライン、モルック</p> <p><b>場所</b> マエダアリーナ、スポーツ広場、沖館リバーランド、市民センター、浪岡体育館、各小中学校の体育館など</p>	<p>○夏休み中のスケジュール計画</p> <p><b>1日目</b> 移動：ねぶたん号を使用 北のまほろば歴史館→県立美術館</p> <p><b>2日目</b> 青森駅前散策→郷土館→クレオパトラで昼食→八甲田山雪中行軍資料館</p> <p><b>3日目</b> 浪岡城跡→中世の館→サンライズ食堂</p>

各グループでの話し合いが終わった後、今日決まった内容について情報を共有するため、グループの代表者が発表をしました。

イベントグループからは、運動イベントとして鬼ごっこやしっぽとりなどみんなが楽しめる種目を企画していることや、現在想定している会場についての発表がありました。

PCAPCA グループからは、実際にねぶたん号を利用して観光施設に行く企画などの発表がありましたが、イベントグループの委員から「郷土館っていま休館中じゃないの？」と聞かれ、調べてみたところ休館中だったので、各施設情報についても事前に調査する必要があることがわかりました。

次の会議では、運動イベントで実際に行う種目を決めたり、訪問したい施設等について手分けして調べたりするほか、夏休み中の活動スケジュールも決めたいと思います。

最後に、事務局からセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の『子ども・ユースキャラバン 2022』への参加について打診があったことを教えてもらいました。今年度も他団体からイベント参加のお誘いがあったことは、これまでの私たちの活動により『青森市子ども会議』の認知度が高くなってきたからだと思うので、今後も公式 Instagram 等を通じて青森市子ども会議の PR をがんばります。

## 令和4年度 第3回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年7月9日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員15名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 夏休み中の活動スケジュールについて  
(2) グループ活動  
(3) ねぶた祭での配布物品の準備  
(4) 子ども・ユースキャラバン2022について

### 5 開催概要

#### 夏休み中の活動スケジュールについて

グループ活動に入る前に、夏休み中の活動日について決めました。事前に回答してもらっていたグループLINEの「活動可能な日程アンケート」の結果を参考に、できるだけたくさんの方が参加できる8月15日(月)～17日(水)の3日間で活動を行うことに決めました。

そのほか、ねぶた祭に参加し、子どもの権利の普及啓発活動も行います。

#### グループ活動

次にグループに分かれて、今後の活動について話し合いました。

##### ○イベントグループ

はじめに、まだ決まっていないチーム名についてみんなで考えました。みんなから出た「イベント」や「イベントィー」「じゃわめぐ 青森」「エンジョイ」「スポーツ」などの案の中から、分かりやすいチーム名ということで「Event Enjoy チーム」に決定しました。これから、自分たちでイベントを企画して実行までがんばりたいと思います。

次に、室内イベントについて考えました。場所は、前回の会議で出た候補の中から、学校の体育館を借りる方向で進めることにしました。10月にスポーツの日があるので、それにちなみ10月中に体育館が空いている日で開催を調整したいと思います。

また、開催の1か月前からチラシを配ったり、Instagramに投稿したり、友だちに声をかけたりするので、8月中にチラシのデザインを決定したいと思います。

場所：甲田中学校の体育館（予定）

日時：10月中 12時～17時で調整中

（イベント時間は13時～16時）

内容：体育館を2面に分ける。

①ドッジボール・バスケットボール・

バドミントンなどのコートを使用するスポーツ

②色おにやスパイおにごっこ、ドロケ、スポーツリバーシ、モルック、大縄、けんりはかせを探せ など、コートを必要としないもの。



次に、地域活性化を目的にしたイベントについて考えました。地域のスポットを巡るウォーキングイベントの開催や、地域活性化イベントに参加して活性化するためのヒントを学んだりしたいと思います。

今のところ、新町・浅虫・浪岡などの地域を考えています。また、その地域にある図書室の紹介なども取り入れられると面白いのではないかと話し合いました。

地域活性化イベントについても、どのように進めていくのか話し合っていきたいです。

#### ○PCAPCA グループ

まずは、今年度初の Instagram 投稿をするため、投稿内容について考えました。昨年の子ども会議フォーラムでは、「#aomori\_days」や「#あおもり日和」のハッシュタグをつけて投稿すると、青森市公式 Instagram で子ども会議のアカウントの投稿を紹介してもらえることを教えてもらったので、昨年の活動写真の中から青森市の魅力的な風景やおすすめスポットを選んで投稿しました。

次に、前回考えた訪問先について、手分けして調べました。前回は、休館日などを考えていなかったため、今回決まった8月15日から17日の3日間の日程に合わせて、開館時間を元に行程を練り直しました。

日にち	予定
15日(月)	9:15 駅前のバス停からねぶたん号に乗車 9:23 北のまほろば歴史館到着 北のまほろば歴史館見学 11:28 ねぶたん号乗車 11:54 青森県立美術館到着(昼食は館内の『4匹の猫』で) 青森県立美術館見学 15:02 ねぶたん号乗車 15:40 青森駅到着
16日(火)	11:10 クレオパトラにて昼食 12:40 移動 13:20 八甲田山雪中行軍記念資料館到着 八甲田山雪中行軍記念資料館見学 15:20 移動 16:00 市役所着
17日(水)	9:45 出発 10:45 浪岡到着 浪岡城跡、中世の館の見学 12:30 サンライズ食堂にて昼食 14:00 市役所着





### ねぶた祭での配布物品の準備

ねぶた祭りで配布する子どもの権利普及啓発物品の準備をしました。ポケットティッシュに子どもの権利相談センターの携帯カードを入れる作業です。1,000部というとても多い数でしたが、みんなで手分けして作業をしたところ、15分もかからずに終わらせることができました。

このポケットティッシュに、不織布マスクや鈴もセットにしたものを配布する予定です。

### 子ども・ユースキャラバン 2022 について

7月30日(土)に開催されるセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の『子ども・ユースキャラバン 2022』に、子ども会議委員も何名か参加します。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの山内さんからイベントについての説明があった後、私たちに対してインタビューがありました。

いろいろな質問に対し、みんな思い思いに気持ちを答えました。

「子ども会議に参加した理由は？」

- ・子どもの意見を受け入れてくれるところを調べて、参加してみようと思った。
- ・活動内容を人から聞いたり、Instagramなどを見たりして興味を持った。

「子ども会議で楽しかったことは？」

- ・活動の中でみんなの意見をまとめて、ちゃんと計画を立てられたときに達成感を感じる。
- ・子ども会議フォーラムで大人に直接意見を言えるし、自分たちで提案した内容を青森市のまちづくりに取り入れてもらえる。
- ・学校や学年が離れていても同じ活動を協力してできる。
- ・モヤモヤとか大人への願いなどを伝えることができ、人前で発表が苦手でも、ちゃんと自分の意見を言える。
- ・イベントなどを自分たちで考えたり、調査する内容を決めたりして、活動できる。

「どんなまちにしたい？」

- ・子どもが生活しやすく、虐待のないまち。豊かで平和なまち。
- ・子どもたちの毎日が明るく、楽しく過ごせるまち。遊び場が増えるとうれしい。
- ・子どもの目線から市長に発表し、伝えることができる。
- ・子どもが、政治家とかにも意見を言える。

次回は、『子ども・ユースキャラバン 2022』に向けて、子どもの権利擁護委員による子どもの権利についての講義を受けた後、グループワークを行います。



## 令和4年度 第4回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年7月23日（土） 9時00分～12時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員16名、子どもの権利擁護委員3名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 子どもの権利に関する講義（講師：沼田徹委員）  
(2) グループワーク（講師：沼田徹委員、小林央美委員、関谷道夫委員）

### 5 開催概要

夏休みに入って初めての子ども会議は、子どもの権利についての講義を受けた後、子どもの権利に関わるグループワークを行いました。

#### 子どもの権利に関する講義

はじめに、子どもの権利擁護委員の沼田徹弁護士から子どもの権利に関する講義として、「沼田校長先生が作った新しい校則をやめさせるために校長先生を説得するためのカードや材料を手に入れよう」をテーマに、私たちに身近な「校則」を絡めたお話をいただきました。

〈沼田校長先生が考えた新しい校則〉

- 1 くつ下の色を男子は白、女子は黒以外を認めない。  
→校則に理由は必要ない。ルールを守ることそのものに意味がある。
- 2 夏の間、男子の髪型は全員丸刈り、女子は全員ショートカット。  
→理由：夏の熱中症を予防し、暑さに負けず学習や運動に集中できるようにするため。



次に、グループに分かれて、沼田校長先生を説得するためのカードや材料について話し合い、沼田校長先生に発表しました。

〈グループワークで出た意見〉

- ・「校則に理由は必要ない。」と言うが、ルールを守って欲しいなら守るべき理由を示さなければいけないと思う。
- ・必要があるルールを作り、それを守ることの意味があると思う。
- ・男女でこうしなければいけないと分けた校則を作ることは、男の子の気持ちを持った女の子もい

るし女の子の気持ちを持った男の子もいるので、ジェンダーレスと言われているこの時代にそぐわないと思う。

- ・熱中症を理由に髪型に制限をかけているが、髪型は個性であり、自分らしく生きる権利を侵害されている。
- ・校長が勝手に自分の意見だけで新しく校則を決めたことがよくない。子どもにも意見を表明し参加する権利があるので、1度みんなで話し合う場を設けるべきだと思う。そして、その場で出た少数意見も尊重しなければいけない。
- ・この校則は、個性と尊厳を無視し強制しているので憲法に違反していると思う。
- ・“子どもでも言いたいことを言える”ということが大事なのに、自分の意見を伝えることができれば、不登校につながると思う。



〈沼田校長先生からの回答〉

- ・男女で分けているのは、学校の乱れはまず女生徒からというデータがある。
- ・一年中髪型の制限をしているのではなく、夏の間だけ規制しており、熱中症にならないようにという生徒の安全を守る校長としての責務を果たすために作った校則である。
- ・また、個性は外見ではなく中身だと考えている。

各グループからの発表を受けて

〈沼田委員からの回答〉

- ・「そのとおり！」と思うような内容ばかりで、説得されました。
- ・ルール合理性というように、「髪を短くすることで熱中症にならなくなる」というような科学的根拠が本当にあるのかなど、そのルールが適切な手段になっているのかが重要である。
- ・今日のように論破ではなく、対話を意識してほしい。沼田校長は説得できなかったが、意見を言い合う中で、自分の考えを変えたり、相手を説得できたりするようになる。
- ・子ども会議委員には理不尽なことは「理不尽だ！」と言えるようになってほしい。



## グループワーク

次に、年齢別に分かれて子どもの権利に関するグループワークを行いました。各グループのファシリテーター役として3人の子どもの権利擁護委員に入ってもらい、お互いの意見を出し合いました。

トークテーマは「困った」「いやだ」「はずかしい」「大人に伝えたいこと」「こども家庭庁への期待」や「子どもが意見を出しやすい環境にするには？」などで、事前に考えてもらった内容をもとに話し合いました。



### ○小5・小6グループ

- ・スクールカウンセラーやクロームブックなど、相談できる環境はあるが、気軽に相談してよいか心配。行きづらい。
- ・先生に「理由」を説明しても「言い訳」としか捉えてもらえない。
- ・全体が怒られているとき、何か意見を言おうとしてもさえぎられて聞いてもらえない。
- ・友達に否定されることが多く、自分の良さを見つけられない時期があった。自分に自信が持てるようになればいい。
- ・ひとりが悪いことをすると、全体の責任にされ、ルールがどんどん厳しくなる。
- ・宿題の直しで中休み、昼休みがなくなってしまう。休み時間は遊んだり休憩したりしたい。
- ・「困った」「いやだ」「恥ずかしい」を「うれしい」に変えられたらよい。自分にとってプラスになるようにしたい。

### ○小6・中1グループ

- ・学校の教育が不平等だと思う。(例：先生の対応が子どもや、その時々で異なることがある。)
- ・通学路とかの道路で凹凸がすごい。足が取られて転びそうになるし、歩道がない道路でもそういうことがある。
- ・小学校は集団で検定を受験できないのが不満。
- ・消費税高い！
- ・悩みや不満などの声を拾ってくれる社会をつかってほしい。
- ・大人に意見を言うのは難しい。
- ・子どもたちの困ったことや悩みごとを解決してくれたら、話しやすくなる。
- ・陽気なキャラクター（明るい、元気で、ポジティブな人）がいっぱいいる場所だったら口も軽くなって話しやすくなると思う、明るくて話せる空気があれば良い。

- ・担任（教師）には相談したくない！
- ・友だちには相談できる→友だちは増やした方が絶対良い！
- ・子どもだって考えているから、15歳くらいまで選挙権が下がれば良い。そしたら子どもも社会の一員だって考えてくれそう。→小学生には憲法とかまだ難しい部分もある。

### ○中3・高校生グループ

- ・子どもは守られる存在ではあるけど、自分が持っている“責任”についてきちんと考える必要がある。他の人に迷惑をかけない。
- ・クラスで1人である子のことを考えてほしい。自分の居場所がわからなくなって体調が悪くなってしまう。
- ・先生や親など目上の人ではなく、同じ年の子でも、自分が意見を伝えても聞いてくれないことがある。自分の話を聞いて欲しい。
- ・友達に兄弟の面倒を見ている子がいる。ヤングケアラーに対する支援をして欲しい。
- ・政府が子どもに対して様々な援助をしているが、あまり深く関わって欲しくないと思う子もいると思うので、どんな援助をするのかではなく、どこまで干渉していいのかを考えたほうが良いと思う。

最後に、子どもの権利擁護委員から一言ずつ講評をいただきました。先生方からは、「良いグループワークだったと思います。勇気を持って意見を言ってください。」「子どもたちでもいろいろな考え方が分かることができました。自由に討論して、新しい意見や好きな意見を出してください。」「みんなしっかりと意見を出し合っていたと思います。勉強になりました。皆さんがどんどん意見を表明していくことが子どもの権利の充実につながると思います。」と激励をいただきました。



## 令和4年度 第5回青森市子ども会議 (青森ねぶた祭における子どもの権利普及啓発活動)

- 1 日 時 令和4年8月2日(火) 18時00分～21時00分
- 2 集合場所 青森市役所駅前庁舎(アウガ)5階 インナーパーク
- 3 出席者 子ども会議委員13名、子どもサポーター4名、事務局3名
- 4 活動内容 青森ねぶた祭における子どもの権利普及啓発活動
- 5 開催概要

3年ぶりに青森ねぶた祭が開催されました。

ねぶた祭1日目にわたしたち青森市子ども会議が参加して、子どもの権利普及啓発活動を行います。ねぶた祭での子どもの権利普及啓発活動には参加したことのない委員が多かったので、みんななどんなことをするのか不安と期待でドキドキしていました。

### 集 合

はじめに、アウガ5階のインナーパークに集まって子どもの権利を啓発するためのうちわや、夜でも目立つように光るブレスレット、鈴などをお互いに付け合いました。うちわには、「青森市」「子ども」「の権利」「会議」の裏に「知ってる?」「覚えて」「入って」の文字がデザインされており、委員がお互いにどれを持ちあうか選びました。

今回のねぶた祭での子どもの権利の普及啓発活動では、去年作成した子どもの権利普及啓発Tシャツを着て、今年デザインして作成したトートバックに啓発物品を詰めて、沿道でねぶたを見ているみなさんに配布します。

時間も差し迫ってきたので、手作りの「青森市子どもの権利」と「青森市子ども会議」がデザインされた提灯を持って青森市役所大型ねぶたの待機場所に向けて出発しました。



## 運行前

アウガから市役所ねぶたの待機場所まで歩きましたが、まだ運行が始まっていないのにすでに疲れている委員が多かったです。

例年であれば運行コースに全ての大型ねぶたが並び、それぞれ一斉にスタートしますが、今年度のねぶた祭は吹き流し方式で、全てのねぶたが同じ場所からスタートします。

今日は市役所ねぶたが最後のスタートだったので、別団体の囃子の音を聞きながら、市役所ねぶたの近くで運行が始まるまで待つことになり、この合間を利用して集合写真を撮りました。

ねぶた運行の実行委員さんから、子どもの権利の啓発物品を配布してもよいスペースを教えてもらい、いよいよ大型ねぶたが動き出します。待機場所から運行コースに出るまでの道のりも、沿道で見ている人がいたので啓発物品を配りながら歩きました。



**運行スタート**

市役所ねぶたのスタートは8時頃になりましたが、周りの囃子に負けないように「ラッセラーラッセラー」の掛け声に「ラッセラッセラッセラー」と声を出しながら啓発物品を配り歩きました。

先頭を歩きながら、積極的に啓発物品を配っていたのは小学生委員たちです。サポーターが持っていた分も配っていました。運行の流れに遅れないように走りながら配るのは難しかったです。

今年度の啓発物品は、①子どもの権利と青森市子ども会議の啓発チラシが入った不織布マスク、②青森市子どもの権利相談センターの携帯カードが入ったポケットティッシュ、③鈴を入れたセットです。鈴もセットになっていたため、沿道の人たちも喜んで受け取ってくれました。

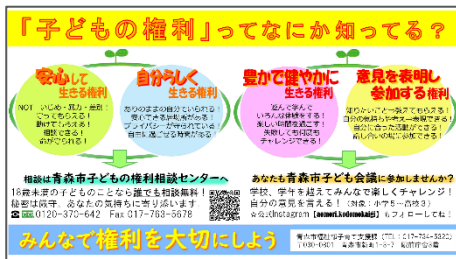
**<啓発物品セット>**



**<台紙>**



**<マスク>**



啓発物品を配り終わった委員は、うちわを振りながら「ラッセラーラッセラー」と沿道へ声を出しながら子どもの権利の普及啓発をしました。

雨が降ってくるタイミングで活動を終わることができたので、ちょうどよかったです。

今回は夏休み期間の集中開催です。PCAPCAグループが考えたコースで各市内施設を周るのが楽しみです。



## 令和4年度 第6回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年8月15日(月) 9時00分～16時00分
- 2 場 所 青森北のまほろば歴史館、青森県立美術館
- 3 出席者 子ども会議委員12名、事務局3名
- 4 活動内容 グループ活動
  - (1) ねぶたん号の撮影 (PCAPCAグループ)
  - (2) あおもり北のまほろば歴史館の見学
  - (3) 昼食
  - (4) 青森県立美術館の見学

### 5 開催概要

夏休み集中開催1日目です。今日はEEチームも一緒に、PCAPCAグループが企画した市内施設の見学に行きます。PCAPCAグループはInstagramへ投稿するためにねぶたん号を使って移動しました。

#### ねぶたん号の撮影 (PCAPCAグループ)

今日の施設見学では、「あおもりシャトル de ルートバスねぶたん号」を使って「あおもり北のまほろば歴史館」と「青森県立美術館」を巡ります。調べたところ、1日乗車券は大人700円、子ども350円で購入でき、3回以上乗る場合はお得だったので1日乗車券を購入することにしました。1日乗車券はねぶたん号の車内でも購入できますが、今回はバスが来るまでの時間に余裕があったので、駅前の観光案内所で先に購入しました。また、購入時に、ねぶたん号を使って行くことができる施設で1日乗車券や2日乗車券を見せると、記念品がもらえることを教えてもらいました。今日行く施設では何がもらえるのか楽しみです。

1日乗車券を購入後、駅前バス停7番乗り場からねぶたん号に乗り、あおもり北のまほろば歴史館に向かいました。



## あおり北のまほろば歴史館の見学

あおり北のまほろば歴史館は、青森市を中心とした郷土の歴史や民俗を総合的に紹介する展示施設です。受付で1日乗車券を見せると、北のまほろば歴史館の展望台から見える青森港の絵が描かれたクリアファイルをもらいました。館内では、なぞなぞクイズラリーも行っており、問題はなぞなぞになっていますが、展示品を見ると答えがわかるようになっています。参加すると記念品として手作りの缶バッジなどがもらえるので、なぞなぞクイズラリーに参加しながら展示を回ることをおすすめします。

展示では、国指定重要有形民俗文化財「津軽海峡及び周辺地域のムダマハギ型漁船コレクション」や県指定有形民俗文化財「青森の刺しこ着」が見られるほか、昔の遊びを実際に体験することもできました。みんなで夢中になって昔の遊びを体験しましたが、特に羽根つきは男子委員に人気で、とても盛り上がりました。

最後に、館内にある展望台にも行きました。青森市の湾内を一望でき、望遠鏡を覗くと見えるきれいな景色に感動していました。



## 昼食

### 【PCAPCA グループ】

次に、青森県立美術館に向かいました。美術館到着後、予定通りに美術館内にある「café 4匹の猫」で昼食をとりました。おしゃれな雰囲気のカフェで、とても美味しかったです。

### 【EE チーム】

あおり北のまほろば歴史館から県立美術館までの道のりの途中にある「ふくし食堂」に行きました。お店に来ている人は、会社員の人たちが多く、地元で愛される昔ながらの食堂という感じでした。委員にはラーメンが人気で、麺は「自家製麺」をうたっているだけあって手作り感があり、美味しかったです。



## 青森県立美術館の見学

それぞれ昼食を食べ終わった後、美術館内の見学を行いました。ねぶたん号の乗車券を見せてもらった記念品は、非売品のポストカードでした。

青森県立美術館では、常設展のほかに、その時期によって変わる企画展やコレクション展もあり、みんなが夢中になって見学していました。それぞれ自分が感動する画角や興味を持った展示を写真におさめていましたが、ブースによって撮影禁止の区域もありました。「あおり犬」は青森県立美術館を代表する展示のため、絶対に撮影したいという意見が出ていたので、地下2階の外に展示されている「あおり犬」をバックにみんなで集合写真を撮影しました。



明日の会議では、今日見学・撮影した場所の Instagram への投稿について検討します。

## 令和4年度 第7回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年8月16日（火） 9時30分～16時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟 第1・第2委員会室、喫茶クレオパトラ、  
青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館
- 3 出席者 子ども会議委員13名、事務局3名
- 4 活動内容 グループ活動
  - ・PCAPCAグループ
    - (1) Instagramの投稿について
    - (2) 喫茶クレオパトラの撮影
    - (3) 青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館の見学
  - ・EEチーム
    - (1) 昼食
    - (2) スポーツイベントの企画について

### 5 開催概要

夏休み集中開催2日目です。今回はグループに分かれて活動を行います。PCAPCAグループでは、昨日に引き続き施設の撮影と昨日見学した施設のInstagramへの投稿について考え、EEチームでは、10月に開催を予定しているスポーツイベントについて考えました。

#### 【PCAPCAグループ】

##### Instagramの投稿について

今日は昼から外出するスケジュールだったので、まず委員会室で昨日見学した施設の投稿について考えました。投稿の本文を考える人、ハッシュタグを考える人、載せる画像を選ぶ人に分かれて、手分けして作業を進めました。早く終わった人はほかの人を手伝うなどして、すべて終わらせることができました。

##### 喫茶クレオパトラの撮影

お昼になったので、歩いてクレオパトラに向かいました。子ども会議では、平成31年度に「青森市中心商店街おすすめCAFÉ&SPOTS」を作成しておすすめのカフェを紹介していましたが、今回は新町のまだ行ったことのないカフェに行きたいという意見があったので、クレオパトラに行くことに決めました。市役所本庁舎から歩いて10分くらいで、新町通りにあります。昔からあるおしゃれな喫茶店で、店内はお一人様が多く、とても落ち着きのある雰囲気でした。

印象的だったメニューは、「サラサラサンド」という血液がサラサラになる食べ物が入っているサンドウィッチです。具材にはトマトや玉ねぎ、キュウリが挟まっていて、さらにグレープフルーツとトマトのミックスジュースがついてきて、健康に良さそうな味がしました。



## 青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館の撮影

次に、幸畑にある八甲田山雪中行軍遭難資料館に行きました。雪中行軍遭難資料館は、去年から委員の中で紹介したいおすすめのスポットとして話題になっていたのも、念願の訪問となりました。受付で、ミニシアターで八甲田山の雪中行軍の遭難について簡単にまとめられた映像を見てから展示を回ることをおすすめされたので、ミニシアターから見ることにしました。

映像を見て事件の悲惨さが分かったからか、いつもはにぎやかな委員たちも静かに展示を見て回っていました。体験コーナーでは、雪中行軍の際に使用していたコートを着たり、荷物が入ったリュックを背負ったりしました。コートは小学生委員の背丈が全て覆われるくらいの長さで、リュックは「ランドセルの5倍重い！！」と言葉が出るほど重く、雪の中こんなに重い荷物を運んだことにびっくりしていました。また、雪中行軍をした部隊の全員の顔や名前があるパネルには、生きて帰還した人、帰還した後病院で亡くなった人に印がついており、生存者が本当に少ないことに衝撃を受けました。

ひと通り展示室を観覧した後は、外にある墓標を見に行きました。たくさん建っている墓標にまた圧倒されました。お花が置いてあるお墓もあり、今でもお花をあげにくる人がいるということを知りました。

館内にある感想を自由に記入するノートを見て、県外から多くの方が訪れていることがわかりました。とても悲惨な事件ですが、せっきく青森市にこのような資料館があるので、ぜひたくさんの方に訪れていただいて、少しでも深く知ってほしいと思います。



## 【EE チーム】

### 昼食

昼食は、市役所本庁舎の近くにある店をみんなで調べて、どこに行くか話し合いました。税務署通りから横に入ると飲食店が軒を連ねている道があるので、そこでランチをすることに決め、「鮮魚・創作ダイニングほいど家」で食べることにしました。どれも美味しそうで、特にほいど定食が来たときは「スゴイ」「豪華」と歓声が上がりました。





## スポーツイベントの企画について

10月のスポーツイベントの名前について案を出し合いました。「自分たちのチーム名である“ENJOY”を入りたい！」や「シンプルに“スポーツイベント”で良いのでは?」、「時期を踏まえて“秋のスポーツイベント”がいいな」、「メッセージ性がある“心も身体もリフレッシュしませんか?」とかだと参加者が増えそう」などの意見が出たので、全部を合わせて「秋のスポーツイベント ～心も身体もリフレッシュしませんか?～」で決定しました。

次に、企画内容についてより具体的に話し合いました。イベント当日の各種目のコート利用時間とスタートする順番などのタイムスケジュールや準備する物品について考えたり、各種目のルールについて調べて、説明するためのセリフなどをまとめたりしました。

時間	コートA	コートB
12時00分～	子ども会議委員集合 受付や会場設営などの準備	
12時30分～	受付開始	
13時00分～	イベント開始 説明・準備運動	
13時30分～ (40分)	バスケットボール (ネット等設営)	モルック
14時10分～ (40分)	バドミントン (コート片付け)	スパイ鬼ごっこ
14時50分～ (40分)	ドッチボール	色鬼
15時30分～	けんりはかせを探せ!ゲーム(10分) 景品引き換え(20分程度)	
16時00分	イベント終了	



あわせて、昨日行った「あおり北のまほろば歴史館」と「ふくし食堂」のInstagramに投稿する本文や写真などの内容を各担当に分かれて作成しました。

特にInstagramに投稿するための写真や画像は、小中学生委員も積極的にパソコンで作成したり、本文を作成するためにみんなから感想を聞き取っていました。また、中高生委員は、画像加工アプリを活用して投稿用の写真を作成するなど、新しいことにも積極的に挑戦していました。

明日は浪岡にある浪岡城跡と中世の館を見学する予定です。調査活動最終日なので頑張りたいと思います。

## 令和4年度 第8回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年8月17日（水） 9時30分～16時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟 第1・第2委員会室、浪岡城跡、浪岡マルミ・サンライズ食堂、青森市中世の館、道の駅なみおか アップルヒル
- 3 出席者 子ども会議委員14名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 グループ活動
  - (1) 浪岡城跡の撮影
  - (2) 浪岡マルミ・サンライズ食堂の撮影 (PCAPCAグループ)
  - (3) 青森市中世の館の見学
  - (4) アップルヒルの撮影 (EE チーム)
  - (5) Instagram の投稿について

### 5 開催概要

夏休み集中開催最終日です。今回は浪岡を調査します。PCAPCA グループは、昨日に引き続き施設の撮影をして、委員会室に戻ってから Instagram の投稿について考えます。EE チームは、PCAPCA グループと一緒に浪岡の施設を見学したあと、委員会室でスポーツイベントについてさらに話し合いを進めます。

#### 浪岡城跡の撮影

まず、浪岡城跡の撮影に行きました。以前来たことがある小学生委員を先頭に浪岡城跡散策コースを歩きました。浪岡城跡では、その名のおおりに、城そのものは残っていませんが、8つの館が扇のように広がる形が特徴です。あまりの広さに、散策途中で「こんなに広いの？」と城の大きさに圧倒されました。

建物はないので、自分たちでどこを歩いているのか、どちらの方向に何があるのかなど、事前に把握してから行く方が楽しめると思いました。また、自然にあふれているので、虫を取りたい人、自然を観察したい人のほか、散歩コースにもおすすめです。



### 浪岡マルミ・サンライズ食堂の撮影（PCAPCA グループ）

PCAPCA グループのお昼は、浪岡に住む委員からのおすすめで挙げた、マルミ・サンライズ食堂で食べました。浪岡のお昼と言えばここ！と声上がるくらいに有名な食堂です。メニューは定食やラーメンなどがあり、委員の多くはラーメンを注文しました。ほとんどのラーメンにはお麩が入っていて、ラーメンも昔と今では変わっていることを知ることができました。



### 青森市中世の館の撮影

次に、青森市中世の館にお邪魔しました。青森市中世の館は、浪岡城跡とサンライズ食堂のほぼ中間にある、旧浪岡小学校の建物が特徴の施設です。青森市中世の館では、浪岡城跡や高屋敷館遺跡などの発掘調査で見つかったものや、復元予想のジオラマなどが展示されています。ジオラマを見ながら実際に歩いたところを想像してみるのは楽しかったです。

また、館内には「青森市中世の館学習シート」が置いてあり、展示室内を回って問題を解くことができます。学習シートを解こうと展示室内を回っても、難しくて解けないような問題もあり、みんな頭を悩ませていましたが、より深く理解することができました。また、展示室の中には、偉人のことが分かる本も置かれていて、歴史好きな人は長く過ごせそうな場所でした。

展示室1・2を過ぎると、旧浪岡小学校の建物につながっています。昔実際に小学校として使われていたもので、レトロな雰囲気があり写真映えしそうな建物です。高校生委員やサポーターは、小さい椅子や机を見ながら、「懐かしい雰囲気があっていいなあ」と言っていたのですが、小学生委員は「何も懐かしくない！」と言っていて、今の自分の過ごす環境によって感想にも違いが出るのがおもしろかったです。



### 道の駅なみおか アップルヒル

EE チームは、PCAPCA グループと別ルートで青森市に戻りました。途中にある道の駅なみおか アップルヒルに寄って、ジェラートを堪能しました。味は、定番のものや季節もの、変わり種のほかに、嶽きみ（とうもろこし）や青天の霹靂（お米）味など、青森の特産品をつかった青森ならではの味のジェラートもありました。

また、自分でこんにやくに好きな量の味噌をかけて食べる「しょうがみそこんにやく」も売ってい

ます。花見などの屋台で定番になっている青森市民に人気のソウルフードなので、食べたことがない人はぜひ食べてほしいです。青森市を食の面から楽しめるアップルヒルを一同満喫しました。



お昼は、中学生委員から提案があった「チキン&パフェ 鶏好」でテイクアウトしました。「大量のテイクアウトは電話予約をしていた方が良い」と聞いていたので、前日にどのメニューを食べたいか聞き取って電話予約をしていました。今回注文したメニューは全部美味しかったので、次は別のメニューも食べてみたいです。

### Instagramの投稿について

#### 【PCAPCA グループ】

委員会室に戻ってきてから、今日調査した施設の、投稿文とハッシュタグ、掲載する画像の選択を手分けして行いました。昨日も同じ作業をしていたこともあり、小学生委員もスラスラと考えることができました。PCAPCA チームは小学生が多いため、事務局に画像加工をお願いして、順番に Instagram に投稿したいと思います。

#### 【EE チーム】

今日調査した施設の Instagram の投稿内容を考える委員と、スポーツイベントのチラシを作成する委員に分かれて作業しました。

Instagram の投稿は、昨日に引き続き画像を作成する委員と、投稿文を考える委員に分かれましたが、中学生委員は、慣れた様子で画像作成に取り組んでいました。高校生委員は、早速今日食べたお弁当の感想を聞き取り、頭を悩ませながら文章を考えていました。

夏休み中の活動も今日で最後ですが、みんな積極的に作業に取り組んでいてよかったです。



## 令和4年度 第9回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年8月27日(土) 13時00分～17時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟 第1・第2委員会室
- 3 出席者 【青森市】子ども会議委員8名、事務局2名  
【Y T K】子ども10名、事務局3名
- 4 活動内容 ・YTK×青森市子ども会議オンライン交流会

- (1) 自己紹介  
(2) YTKの発表 → 意見交換  
(3) 青森市の発表 → 意見交換  
(4) 感想発表
- ・オンライン交流会を終えて



### 5 開催概要

今年度計画していたオンライン交流会の1回目です。神奈川県川崎市で活動するYTK(横丁楽しくしよう会)は、昨年青森市子ども会議も参加した「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」の参加団体の中で、一番気になる活動をしていた団体です。今日のオンライン交流会で、詳しく活動内容などを聞き取り、お互いに新しい活動へのヒントを得たいと思います。

#### 自己紹介

交流会は青森市子ども会議の高校生委員の司会でスタートしました。自己紹介では、それぞれ学年と名前のほかに自由にコメントをしました。YTKも青森市子ども会議も、「交流会を楽しみにしていました」という人が多かったです。

次に、スクリーンショットによる記念撮影を行いました。YTKは会場に大勢が集まって参加していたので、団体の雰囲気がよく分かりました。



### <YTK（横丁を楽しくしよう会）について>

YTK(横丁を楽しくしよう会)は、子どもたちの「こどもゆめ横丁をもっと盛り上げたい」の声をきっかけに始まりました。月に数回会議をし、PR用のチラシをつくったり、説明会を開催し、スタッフと一緒に横丁のPRをしたりするなど、たくさんの活動をしています。

今年度は新しく、「映える」インスタ投稿や、横丁のイメージキャラクターを作ろうという話が出ています。

### <こどもゆめ横丁とは>

子どもたちが自分たちの力だけでお店を開く、子どもたちが主役のイベントです。どんなお店にするか、どんな商品売るか、値段はどうするかなども自分たちで考えます。

横丁では本物のお金で商売をします。商品は、ゲームやマッサージ、食品など、自分たちで考えて準備します。いろんなお店を出すことができ、お店も廃材を使って自分たちでつくります。

### <こどもゆめ横丁までの流れ>

お店を出す前に、まず9月の子ども説明会に参加します。大人への説明会もあります。10月には横丁にお店を出す人が全員集まって、今年のテーマや横丁で売ることができる商品の値段の条件、横丁税率などについて会議をします。

お店をつくる期間は2週間で、子どもたちだけの手で作るので、11月の本番に間に合うようにみんながんばってつくります。本番の前日には、「みんなで横丁をがんばろう」と気持ちを1つにする会を開き、本番を迎えます。

当日は午前11時から午後3時まで開催します。お店の準備をして、本番を迎え、横丁が終わったらお店をみんなで解体します。解体はお父さんたちも手伝ってくれます。最後にはお疲れ様会をして、良かったことや来年どんなことをやりたいかを話し合います。

### <横丁税について>

こどもゆめ横丁では、「遊具をつくりたい」、「お花を育てたい」など、夢パークの中でやりたいことを実現するため、「横丁税」として、みんなが出したお店の利益の10%を集めています。横丁税の使い道は、お店を出した子どもたち全員で話し合って決めます。過去には、夢パークの遊具やアスレチックをつくるための材料を買ったり、バナナの木を植えたりしました。



## 質疑応答

発表を聞いて気になったことについて質問をし、YTK の活動をさらに詳しく教えてもらいました。

### ○こどもゆめ横丁について

- ・販売する商品の値段は食品だと200円以内で、食品以外だと150円以下くらいで設定する。
- ・YTK 以外に市内外のお母さんたちが関わってくれていて、当日は1,200人以上が来場する。
- ・食品は自分たちで作れるものであれば何でも良いが、食品衛生の問題でなま物は売れない。
- ・これまでにラーメン、ワッフルのほか、ホットドックを売ったことがある。食品以外では、的あて、木で作った剣のほか、スライムなどをつくれるお店を出したこともあるが、やっぱり食品のお店が人気。

### ○横丁で大変だったこと

- ・決めたはずの内容と違うなど、メンバーとよくケンカした。メンバーを集めることも大変。
- ・過去には台風が来て、お店がずぶ濡れになったことがあった。傘をさしてお店を開いたり、ビニールで雨よけを作ったりしてがんばった。そんな中でも来場者は多かった。
- ・コロナ対策で、“OKシール”をもらえないとお店を出せないルールができ、これをもらうこと。自分は本番開始時間のギリギリになってようやくもらうことができた。

## 青森市の発表

発表原稿を当日ギリギリまで作っていて、リハーサルが1、2回しかできませんでした。YTK の子どもたちは、そもそも青森市について知らないかもしれないと考えて、今回の発表内容には青森市の紹介も取り入れました。

### <青森市について>

青森市は、青森県のほぼ中央に位置し、日本三大火祭りである青森ねぶた祭りで有名です。昨年世界文化遺産に登録された三内丸山遺跡もあり、八甲田山や陸奥湾などの自然も豊富で、りんごやカシス、ホタテなどもおいしいです。

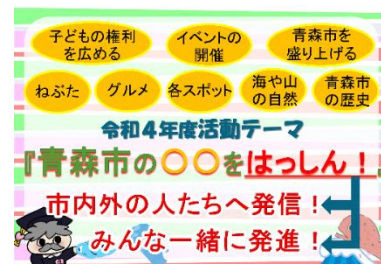


### <青森市子ども会議の活動について>

「青森市の〇〇をはっしん！」をテーマに、2つのグループに分かれて活動を進めています。

この「はっしん！」には、情報の「発信」と新しい一歩を踏み出す「発進」の2つの意味があり、情報を発信する PCAPCA (パカパカ) グループでは、Instagram を活用し、青森市の魅力を子どもの目線から「発信」しています。

一歩を踏み出す「発進」をテーマに活動する Event Enjoy (EE) チームでは、自分たちでイベントを企画し、青森市の“じゃわめぎ”を創出したいと考えています。現在は、10月のスポーツイベント開催に向けて活動中です。



## 質疑応答

次に、YTK から青森市に質問をもらい、それに対して回答しました。

### ○青森市のおすすめについて

- ・温泉とか歴史とか食べ物とかたくさんあるけど、温泉だと浅虫にある温泉街がおすすめ。源泉かけ流しの旅館や浅虫温泉駅前には誰でも自由に入れる足湯がある。
- ・魚もおいしいけど、日本一ということもあってホタテがおすすめ。
- ・フルーツではりんご、カシス、ブラックベリーが生産量日本一でおすすめ。

### ○子ども会議について

- ・青森市子ども会議の活動は、以前は話し合いが多かったけれど、昨年度から Instagram の投稿をはじめたので、現地に足を運んで調べたりすることが増えた。子ども会議は月に2回くらい開催し、みんなで話し合いをしている。

## 感想発表

〈YTK の感想〉

- ・青森市と川崎市は離れているけど、オンラインでいろんな話ができ良かった。コロナもあって難しいとは思うけれど、11月に横丁に来てほしい。
- ・青森市に行く予定があるので、教えてもらったおすすめスポットにも行ってみたい。

〈青森市の感想〉

- ・こどもゆめ横丁では、“本気のごっこ遊び”として、実際に自分たちでお店を出して、お金を動かしているのがすごいと思う。YTK の活動について知ることができてよかった。
- ・YTK の活動の中でも、苦労や大変なことがあると思うけれど、一緒にがんばっていききたい。
- ・活動ひとつをとってみても、いろんなことが違うと分かり、その違いが楽しいと感じた。

## オンライン交流会を終えて

交流会終了後、子ども会議委員で感想を話し合いました。一番は、やはり YTK と青森市の活動内容の違いが話題になり、YTK のように参加者が楽しみながら、自分たちの手で大きなイベントを開いてみたいという声も上がりました。

また、実際のお金を使っていることもあり、みんなが真剣に取り組んでいて、さらにその利益を新たな活動資金にしていることもすごいと思いました。青森市でも、同じような活動ができないか考えていきたいと思いました。



## 令和4年度 第10回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年9月11日（日） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員10名、事務局2名
- 4 活動内容 ・青森市子ども会議フォーラム2022に向けて  
（1）サブタイトルについて  
（2）チラシデザインについて  
（3）意見提案内容について

### 5 開催概要

11月20日に開催する青森市子ども会議フォーラム2022に向けて、サブタイトルやチラシデザイン、市への提案内容などについて話し合いました。

#### 青森市子ども会議フォーラム2022に向けて

##### （1）サブタイトルについて

はじめに、あらかじめ考えてきてもらったサブタイトル案をみんなで共有しました。また、サブタイトルの先頭には、これまでの子ども会議委員の先輩方の思いを引き継ぐ意味も込めて、今年も「FOR CHILDREN」を付けることにしました。

みんなが考えてきた案をもとに、合体したり、さらに新しい案がないかを話し合ったりしながら、最終的に候補に残った全ての案で多数決をとりました。

#### <青森市子ども会議フォーラム2022 サブタイトル（案）>

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ①聞いて！わたしたちの声をたくさんの人へ | ④届け！私たちの声         |
| ②ひらめきの種 大輪の笑顔へ       | ⑤これからもずっと住みたい青森市へ |
| ③明日ももっと大成功！          | ⑥子どもの未来に夢と希望を     |

委員の中でも意見が分かれたため、投票数が多かった6つの案に絞り、今回の会議に参加できなかった委員からも意見を聞くため、グループLINEで投票してもらい、その結果を参考に次回決定することにしました。



## (2) チラシデザインについて

次に、チラシデザインについて話し合いました。毎年、子ども会議フォーラムでは黒板モチーフを使用してきましたが、話し合いの結果、今年も黒板モチーフでチラシをデザインすることにしました。

### <デザイン案>

- ・黒板モチーフで作成する
- ・けんりはかせはパカパカに乗せる
- ・黒板にあるチョークも活用して、重要なところは赤いチョーク風の文字にする
- ・虹や花火や風船、青森市の特色であるねぶた、秋の旬の食べ物、男の子と女の子が手をつないでいるイラストなどを入れる  
→イラストは黒板アートなどのチョークテイストにする

絵が得意な中学生委員が、黒板にチョークで描いたイメージで、パカパカのイラストを作りました。これらのデザイン案やイラストをもとに、事務局がチラシの案を作成してくれることになりました。どのようなチラシになるのか、次の会議が楽しみです。



## (3) 意見提案内容について

これまでの子ども会議での活動を踏まえ、訪れた施設などの感想や発見したこと、より良くなってほしいことなどについてグループに分かれて話し合いをしました。

### 【EE チーム】

- ・部活動のクラブ化が進み、どんなクラブがあるのか情報が少ないと感じた。青森市のクラブチームなどを紹介してほしい。
- ・学校の体育館は部活動でも使用するから難しい部分があると思うが、個人でも使用できるように開放してほしい。
- ・市で開催しているスポーツイベントの情報が入ってこないで、チラシだけではなく、Instagramやツイッターでも告知してほしい。
- ・チラシを学校に配付するだけではなく、スーパーやショッピングセンター、市民センターなど子どもが足を運ぶ場所に置くことで、自分から手にとってもらえるのではないかな。
- ・YTK でやっている横町のようなことを自分たちでもやってみたい。



### 【PCAPCA グループ】

- ・八甲田山雪中行軍遭難資料館では、最初に見た説明動画がよかった。歴史や施設についてわかりやすかった。
- ・北のまほろば歴史館や中世の館のように、ワークシートがあると達成感があって良い。また、小さくてもよいので記念品があるとうれしい。
- ・ねぶたん号を実際に利用したが、各観光施設との連携がとれており、割引などもあるのがよかった。また、車内アナウンスで各施設の説明があり、観光客にもわかりやすくてよいと感じた。
- ・浪岡城跡を見学したが、どのような遺跡であるのか説明が少なく感じた。中世の館で説明を見てから浪岡城跡の観覧をおすすめするなどの案内をしてほしい。
- ・浪岡城跡の情報を学べる講習会やガイドによる案内がある日などの情報を知りたい。
- ・旧浪岡小学校の校舎などはインスタ映えすると思う。

子ども会議フォーラムの開催までは、まだ2か月あります。今日話し合った内容をもとに、実際に提案する内容などを具体的にまとめていきたいと思います。

## 令和4年度 第11回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年9月23日（金） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員13名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) むつ湾感謝祭 2022 への参加  
(2) スポーツイベント等のチラシの作成

### 5 開催概要

#### むつ湾感謝祭 2022 への参加

子ども会議で今年度やりたいことの一つに「地域の活性化イベントに参加したい」という意見がありました。

今回は、「未来のむつ湾のために楽しく体験、ちょっと学習！」をテーマに開催されている「むつ湾感謝祭 2022」に参加することにしました。「むつ湾感謝祭 2022」では、野外イベントとしてあおもり駅前ビーチでシーカヤックやヒラメの稚魚の放流が体験できるほか、屋内イベントとして、かるたやすごろくなど、遊びながらむつ湾について学ぶことができます。PCAPCA グループ、EE チームそれぞれ、行きたい場所を話し合ってから、会場のねぶたの家ワ・ラッセに向かいました。



はじめに、みんなで屋内イベントに参加しました。むつ湾や SDGS に関するかるた、むつ湾沿いの線路が目になっているすごろく、むつ湾周辺の地図が印刷されているキューブを順番通りに並び変えるゲームなどがあり、遊び感覚で楽しくむつ湾の魅力を知ることができました。

次に、シーカヤック体験を希望した委員は、あおもり駅前ビーチに移動しました。シーカヤック体験と同時にヒラメの稚魚の放流ができてとても楽しかったです。ヒラメをつかむのは難しかったです、元気に成長することを願いながら放流しました。



ワ・ラッセ西の広場では、青森の B 級グルメで有名ないかめんちや特産品のホタテ、今別牛を使ったメニューなど、いろいろな屋台が出ていました。西の広場では、MC が会場の様子やイベントの見どころなどを盛り上がるように紹介していて、そのトーク力や語彙力に感心しました。

このイベントで参考にできる点を、EE チームが開催するスポーツイベントにも取り入れていきたいと思います。

## スポーツイベント等のチラシの作成

次に、10月23日に開催するスポーツイベントと11月20日に開催する子ども会議フォーラムのチラシのデザインについて確認をしました。文言や絵の追加など、出された意見をもとに修正し、完成次第、各学校へ配付したいと思います。

主催：青森市子ども会議

# 秋のスポーツイベント

～心も体もリフレッシュしよう～

とき 10月23日(日) 13:00～16:00  
(受付開始 12:30～)

場所 甲田中学校 体育館  
(青森市金沢3丁目11-1)

持ち物 体育館シューズ(内履き)  
汗拭きタオル・飲み物

注意点 動きやすい服装でお越しください

※注意※  
状況により時間が前後する可能性があります！

〈好きな種目に参加しよう！〉 **事前申込必須**

13:30～ バasketボール / モルック・スポーツリバーシ  
14:10～ バドミントン / スパイオニごっこ  
14:50～ ドッジボール / 色オニ  
15:30～ けんりはかせを探せ！(宝探しゲーム)

〈参加について〉 **先着30名**

- ・小学4年生～高校3年生までが対象です。
- ・参加料は無料です。
- ・参加申込は、令和4年10月19日(水)までに電話、FAX、メールなどで必要事項について教えてください。  
【必要事項】名前、年齢(学年)、連絡先
- ・イベント途中の入退場もできます。

〈問合せ・申込先〉  
青森市役所 福祉部子育て支援課  
TEL：017-734-5320 FAX：017-763-5678  
MAIL：kosodate-shien@city.aomori.aomori.jp

けんりはかせ

子どもの権利について知ろう！ わたしたちの声をたくさんの人に聞かせよう！

# 青森市子ども会議フォーラム2022

FOR CHILDREN  
～子どもの未来に夢と希望を～

明日ももっと大成功！

**11月20日(日)**  
10:30～12:00  
(開場は10:00～)

青森市議会の議場で開催！  
(青森市中央1-22-5 青森市役所 議会議場)

これまで「青森市のOOをばっしん！」をテーマに活動してきた青森市子ども会議委員が考える「こうなってほしい青森市」について、市長等へ意見提案します。

わたしたち「子どもの声」を聞いて下さい！

**友だちや家族みんなに来てね** 入場無料！

駐車場は 浦町小学校をご利用ください！  
徒歩5分くらい

適切な感染防止対策を行います！

実施するけど面白いかな？

問合せ先：青森市子育て支援課 (TEL：017-734-5320)

次回の会議では、スポーツイベントと子ども会議フォーラムの準備に加えて、豊田市とのオンライン交流会を行います。

## 令和4年度 第12回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年10月10日（月） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室・柳川庁舎2階 講堂
- 3 出席者 子ども会議委員11名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 青森市民図書館の展示タイトルについて  
(2) 子どもの権利パネル展の展示物作成  
(3) スポーツイベントリハーサル (EE チーム)

### 5 開催概要

#### 青森市民図書館の展示タイトルについて

昨年に引き続き、11月は青森市民図書館の7階で子どもの権利に関する展示があります。

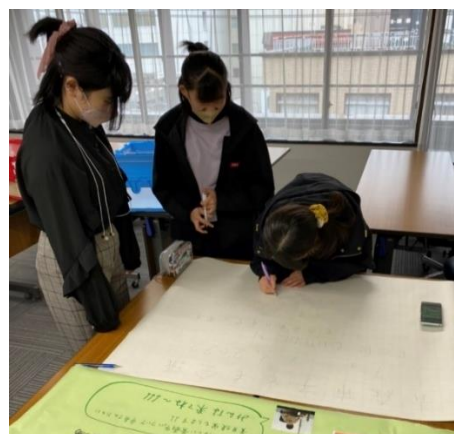
そこで、きょうの子ども会議では、図書館を訪れた人が子どもの権利に関する本を手に取り、展示に興味を持ってもらえるような展示タイトルについて話し合いました。

「みんなで学ぼう子どもの権利」、「広がれ！世界に子どもの権利」などたくさん出た案の中から良いと思うものを1人1つ選んだ結果、今年の展示タイトルは、一番挙手が多かった「聞いて！子どもの声と希望！」に決まりました。



#### 子どもの権利パネル展の展示物作成

次に、同じく11月に駅前スクエアで開催される、子どもの権利パネル展の展示物を PCAPCA グループ、EE チームに分かれて作成しました。下書きを進める委員や見出しのデコレーションに力を入れる委員、写真を貼ったり絵を描いたりする委員など、役割分担をしながらほぼ完成させることができました。



### スポーツイベントリハーサル (EE チーム)

展示物の作成後、EE チームは柳川庁舎講堂に移動し、10月23日(日)のスポーツイベントに向けて、担当種目の決定やルール説明の練習、各種目の体験をしました。スポーツイベントで実施する種目がどのようなものなのかを知らない委員がいたので、実際に体験できてよかったです。実際に体験する中で、「スポーツリバーシはすぐに飽きてしまいそうだ」、「モルックはルールが分かるまで時間がかかってしまうかも」という意見が出ましたが、競技自体は楽しめたので、参加する子どもたちにも楽しんでもらえると思います。

また、ドッジボールやバドミントン、バスケットボールは授業でやったことのある人が多いため、スポーツイベントでの独自ルールだけ覚えてもらえばいいと、説明のポイントを整理することができました。



スポーツイベントでは、参加する多くの子どもたちに楽しんでもらい、「体を継続して動かしたい」と思ってもらえるようにがんばりたいと思います。